

公表	事業所における自己評価総括表	放課後デイサービス
----	----------------	-----------

○事業所名	こども発達未来スタジオippo 三日月教室		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 12名
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 1日		～ 令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の年齢層が20～50代と幅広く、さらに専門職が揃っており、一人一人の特性に合わせた専門性のある療育が実施できること。 ・職員同士のコミュニケーションが円滑であり信頼関係が構築されていること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職と児童支援員、保育士それぞれの視点で意見を出し合う機会を設けている。 ・それぞれの得意とする内容(調理・絵・ピアノ・工作)を提供する活動を取り入れ還元されている。 ・お子様の特性を踏まえた上で、職員の経験値やスキルに応じた配置を心がけ支援の格差が生じないようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人の課題に合わせた目標を明確にし、目標に対する評価を行い段階的にステップアップできるような支援を計画し実施していく。 ・職員間の価値観や先入観などの差もあるため報連相やミーティングなどを通してアプローチの方法について共有・検討をしていく。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・発達に合わせてプログラムの取り組みに変化をつけ、充実した取り組みになるようにしていること。 ・常に子供たちが楽しいと思うことを活動に入れたり、やってみたく思っていることが実行できているところ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同じプログラムでも、発達に合わせてアプローチを変えている。 ・子どもたちがチャレンジできる環境を整え、「できた!」の成功体験を積み、自ら意欲的に取り組めるように取り組みのアプローチを職員同士で話し合っている。 ・毎日のミーティングの中で前日の振り返りや当日の予定を確認している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの発達段階について、支援計画や専門的支援計画を各職員が読んで理解を深める。 ・朝礼時に進め方を具体的に共有していく。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・個別・集団・小集団での活動、毎日の活動内容が豊富である。 ・公園が近いことで、活動の幅が広がっていること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々のプログラムはニーズに合わせて個別活動(療育)や小集団での活動(制作や手作りおやつ)、集団(集会・ゲームなど)を通して、多様な体験が出来るように支援している。 ・毎日の活動以外にも季節の行事を行っている。 ・人数や天候によって室内と外を使い分けて、それぞれ場での活動を考えていく。公園では外ならではの広さも使って、リレーや鬼ごっこなど全員で体を使ったダイナミックな活動も取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員ミーティング等の機会を通じ行った行動を振り返ることでさらなる内容に充実を図っていく。 ・学校授業日でも外出できるようなプログラムを検討していく。 ・室内、外共に活動のバリエーションが増やせるように職員から広くアイデアを募集したり調べたりしていく。 ・下校時刻が違うため、到着時間に差がある。全体では出来なくても、小集団で出来るよう検討していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会や保護者同士の交流が出来ていないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様から個々での相談は随時対応しているが今現在保護者同士の交流は実施していない。 ・感染症の流行などを見ると、一堂に集まって過ごすことにリスクを感じている。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の感染症流行状況や教室での子どもたちの様子など丁寧に観察し、一度に集まる人数や時間をこまかく設定し、慎重に企画を検討していく。 ・今後はイベント開催時などで保護者交流のタイミングを設けていき、お子様も交え参加しやすい雰囲気を作って行きたいと考えている。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド等、併設する屋外の施設がないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発散する時間として屋外での活動を取り入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の公園や敷地内の駐車場で活動している。また屋内でも安全に配慮しながら工夫して全身運動を実施している。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族も参加できる研修会等の機会について 	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな特性の子どもたちにご利用いただいており、また、課題感もさまざまであるため、一律的なペアレント・トレーニングを実施することが効果的か検討する必要があると考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> お子さまの個別の課題感や支援については、随時メールや電話等で情報共有させていただき、必要に応じて面談の場を設けて課題にあわせた情報提供やアドバイス等を行って行きたいと考えている。